

令和5(2023)年度 第22期 事業計画書

	事業名、開設・実施日時/場所、対象者等	コンセプト	主要方針、当年具体策
コミュニティ・スペース部門【CS】	<p>～子どものためのコミュニティ・スペース～ワークレッシュ(22期目) 通称「CS、ワークレッシュ」 居住地・年齢等は不問 *認可外保育施設(乳幼児対象・小学生以上可、1日定員5名) 【実施場所】大阪狭山市大野台7-18-3 【開設日数】火～金 10時～13時 依頼に応じて時間外対応 【通常開設日時】火～金 10時～13時 依頼に応じて時間外対応 【対象者】利用会員家庭および地域住民 「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」取得済(2022年9月21日付)</p>	<p>遊びが学び、暮らしが仕事 日月火水木金土に触れる毎日を ほんまのトコロ、まんまのココロ 「しんどいときは、SOS! 助け合うのが当たり前」(定款第3条【目的】意識より抜粋)の精神で、地域社会で自分たちが担うべき役割や力を自覚し、住民経営によるコミュニティ・スペースづくりを堅持しながら、独自性と普遍性を表現していく。 「年齢・校区を問わない夜間までの地域の子ども居場所づくり」 「公的資金を伴わない、行政サービスの行き届かない領域の子ども・子育て支援、それを通じたコミュニティの関係づくり」 *会員制&予約制の保育*食事提供*送迎協力▶時間外対応が主軸</p> 	<p>保護者の都合や希望を受け止めるだけでなく、子どもの意思によるニーズをとらえ、育児や地域生活、各自の仕事を支援するため、自らの五感を軸に、プラス1の親切を実行する。 ① 風土や草木にふれて、心や感性を育み合う。 ② 商業主義にのらない文化や暮らしを体感する。 ③ 多様な人々や動植物が直にふれあう場をつくる。 ④ 社会に目を向け、地域に出掛け、出会い、知る。 *出席児童の諸状況を充分考慮の上、保育を提供する。</p> 
	<p>地域の子どもの中心とした様々な体験・交流機会の場の運営 月1～2、土曜 講師派遣</p>	<p>*CS企画 食の部活動・野山に遠足 *地域の誰が集まる憩いと出会いの場(おむすび村) *地域イベントへの参加(はばたきフェスタ等) *講座・研修・交流会の企画運営(Gotcha!継承・発展) *個人・団体の運営支援</p> 	<p>*CS企画 or おむすび村:地域の団体・事業者らと協働し、月1～2回の実施を目指す。 *講師派遣:依頼に応じて請負。(法人の資源を活用するため、個人請負い業務にはしない。)</p>
フェイスイス部門	<p>障害児通所支援事業 児童発達支援・放課後等デイサービス フェイス(10期目) 「フェイス、放デイ、児童デイ」 【実施場所】大阪狭山市大野台7-18-3 【開設日数】4-5月 48日間開設 【開設日時】 月～金 12時30分～18時30分 土・長期休暇中 10時～18時 【対象者】障害児(18歳未満の身体・知的・精神障害者及び難病等対象者(発達障害児を含む)) 児童18名・契約家庭数15(2023年5月現在) 定員10名 *保育所等訪問支援(2020年6月1日開設、4期目) 【営業日時】火～金 10時～12時 年間実施件数の目安85件(6名)</p>	<p><児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業> 「利用する児童の身体及び精神・環境に応じて、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、並びに集団生活に適応するための指導訓練等を効果的・継続的に提供し、生活能力の向上と地域社会との交流を図る。」 ・他者との信頼関係の形成 ・友達と過ごす心地よさや楽しさを味わう ・葛藤を調整し、主張し、折り合いをつける ・自己選択/自己決定 *保育所等訪問支援 ・障害児本人に対する間接支援、集団生活への適応や、存在・表現理解のための相互支援 ・訪問先施設の保育士等との支援方法の共有、保護者との情報共有・連携</p>	<p>児童発達支援・放課後等デイサービスは、「衣食住に密着した暮らし」を、仲間と共同で体験して学ぶことが不変のテーマ。 9期目は、「丁寧」な関わりを一層重視して取り組む。子どもたちの心身の傷つきや育ちの抜け落ちを、身近な人から大切に扱われ、存在や言動を認められるというような、実感を伴う直接的な所作・言動の経験で補って、重ねつなぎ合わせていくことを重要視する。時間の制限を守り決められた道筋をこなすために生きるのではなく、個人や世間の中に残る常識的な「良識」(偏見)から自分たちの感情を解放し、心身栄養を補い合っていく。そして、子らが「今の自分」を知って受け容れながら、自分自身を扱い、伸ばしていくための後押しと下支えをする。 保育所等訪問支援は3期目。学校・保護者との信頼関係、実践の手応えを深めていく。相談支援機関や園・学校はもとより、地域や近隣事業所との関わりを重視し、相互の協力体制や信頼関係を構築していく。当事業の必要性を自覚して積極的な広報活動に取組み、利用者募集・潜在的ニーズの掘り起こしと地域社会への理解を得ていく。同時に、担い手の養成を進める。 3事業を通じ、「本人主体」「子育ての仕方支援」「地域の暮らし」を主軸に、どのような状況においても親子の関係性や暮らしを常に応援しながら個々の心模様をつなぎ合わせていくためにも、一人ひとりの技能や度量に頼らず、発信や協調の力を上げていくことが急務である。都市化・少子化・核家族化からコロナ禍にあって、幼児期前期からの発達等の課題があがってくる現実が突きつけられている。イチからやり直し。本人、そして家族とのお付き合いを大切に。多様な人たちが、互いを見做って共に育ち合う社会をつくる。</p>
	<p>ChatWork「230623総会」に計画原案あり 福祉型ショートステイBravo!&どろんこ遊び場MAKIBA 2023年8-9月 ▶物件賃貸契約・臨時総会 ▶改修工事▶移転・環境整備 2024年2月 ▶届出・申請関連開始▶広報・採用活動 ▶研修▶見学・体験 2024年5月 開業</p>	<p>里山に、つどって遊んで食べて泊まれる福祉型ショートステイ(子どもが主体) 地域福祉活動や子育て支援事業を20年以上手掛けてきた認定NPO法人が経営する 古民家をバリアフリー&アリーのユニバーサルデザイン仕様に改修 児童対象の福祉型ショートステイが仕事、遊びと学びと暮らしの共営 コロナ禍で減退した生活・遊びの体験と交流機会を補い、近隣の人的/社会資源と連携協調して地域活性化を担う(概要は、下記の画像)</p>	 
管理部門	<p>総務部本部事務局 「総務、管理運営部門、事務」 【応対時間帯】 月～土:10時～17時 日祝休</p>	<p>◆事務マネジメント全般 ◆経理・人事の管理、資料作成 ◆研修や行事の企画運営 ◆予算執行状況の進捗管理・報告 ◆総会・理事会等の会議運営 ◇相談受付・一次応対 ◇事務所等の環境整備 ◇渉外・広報(PR・情報発信) ◇講座・研修企画</p>	<p>2023年、3大ミッション ① 新拠点・新事業の準備 ▶環境整備・渉外・広報 ▶PR・情報発信 ② バックオフィス再構築 ▶各種業務の効率化、省人化・DX推進 ③ 企画・研修</p> 

2023年5月末閉業

2023年6月 事業譲渡



主なサービス/機能①

Bravo!

【福祉型短期入所】(仮称)ショートステイ Bravo!

木-金-土 泊 各日定員3名

食事(夕/朝)・入浴・排泄の介護、送迎

日中の余暇活動・体験宿泊(自費利用も可)

<https://www.55r-kawata.jp/tokai/akita/akita-shokutei/shokutei-byo/>
<https://www.55r-kawata.jp/tokai/akita/akita-shokutei/shokutei-byo/akita-shokutei-byo/>

群馬県福祉保健福祉課(群馬県庁5階505号室) 所



■導入ツール ■ ECサイト(Shopdy/BASE) ■ 顧客管理(cybozu) ■ インカム(BONX) ■ AI搭載計測カメラ(暖水温度)
 □改修 □ バリアフル&フリーLD仕様にてトイレ・洗面・浴室・台所・器具・出入口・駐車場・屋外風呂シャワー
 ガラス→アクリル、耐震、断熱、電気、水道

主なサービス/機能②

【貸しスペース】

(仮称)和暮守

要予約 日時応相談

会議・研修・映画会・調理実習

楽屋の練習・一休体験など

【屋外プレイグラウンド】

(仮称)どろんこ遊び場 まきば

火~金 10:00~15:00/15:00~20:00

× 宿泊・入浴・食事の提供

○ 送迎・ガイド・施設利用



いずれも完全予約制 事前EC決済 駐車場・Wi-Fi 無料